

SFC 研究所ラボラトリ年次活動実績報告書

ラボ名称	プラットフォームデザイン・ラボ				
ラボ代表者	氏名	國領 二郎	所属	総合政策学部	
ラボ設置期間	2003年7月1日		～	2024年3月31日	20 年間

構成メンバー（提出時点）		
氏名	所属・職位	役割
國領 二郎	総合政策学部・教授	統括
村井 純	大学共通・教授	統括補佐
飯盛 義徳	総合政策学部・教授	地域経済自立化のプラットフォームと人材育成研究担当
秋山 美紀	環境情報学部・教授	ヘルスコミュニケーション研究担当
琴坂 将広	総合政策学部・准教授	プラットフォームの事業展開、国際化研究担当
野原 佐和子	政策・メディア研究科・特任教授	スマート・シティおよびMaaSの動向に関する調査研究担当
梅嶋 真樹	政策・メディア研究科・特任准教授	自律分散協調論に依拠した分散エネルギーシステム・分散無線通信
深見 嘉明	政策・メディア研究科・特任准教授	オープン標準プラットフォーム形成モデル分析研究担当
小野塚 亮	政策・メディア研究科・特任講師	データ・セントリック開発を核としたオープン・コラボレーション
WONG HEI YUI	政策・メディア研究科・研究員	サイバー文明研究に関する研究者プラットフォームの設計運営担当
趙 珉卿	政策・メディア研究科・研究員	サイバー文明研究に関する研究者プラットフォームの設計運営担当
林 幹人	愛知学院大学経営学部・教授	組織内コミュニケーション・プラットフォームの研究、および、地
小川 美香子	東京海洋大学学術研究院食品生産科学部門・准教授	ID技術を活用した情報開示システム、トレーサビリティの研究担当
折田 明子	関東学院大学人間共生学部・准教授	インターネットを介した個人間の情報交換プラットフォーム
生貝 直人	東洋大学経済学部・准教授	情報社会の総合政策研究担当

年次活動実績報告

研究活動報告 （設置申請書、継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。）

プラットフォームは、「誰もが明確な条件で提供を受けられる商品やサービスの供給を通じて、第三者間の取引を活性化させたり、新しいビジネスを起こしたりする基盤」である。例えば、OSやSNSはもちろん、WEBブラウザなどは、多くの企業や個人が他者とつながるプラットフォームであり、クレジットカードも多くの事業者と消費者をつなぐプラットフォームとなっており、プラットフォームは、多くのビジネスモデルや社会モデルに活用されている。

本ラボにおいては、各研究者が、各々のフィールドにおいて、プラットフォームの社会導入を推進し、そこでの課題発見とその解決を通じて、一般化可能な新たな知見を得て、プラットフォームの設計に対する理論的な貢献を目指している。

○SFCキャンパスにおける分散エネルギー機器(DER)プラットフォームの実証：ローソンSFC店のシステム開発とその運営

株式会社ローソンと共同し、9月23日（月・祝）に慶應義塾生活協同組合がオープンする「ローソン慶應義塾大学SFC店」において、VPPの実店舗化を実現した。本店舗では、他のVPP対応ローソン店舗と協調・集積し、電力需給調整市場等において取引可能な電力創出を実証している。また、店舗設備として設置される太陽光発電用システム、定置型蓄電池、電気自動車充放電器が地震や台風などの緊急時において効果的に活用される方策を実証している。

○富山県延岡市における遠隔授業プラットフォームの実証：公立中学校における遠隔授業モデルの運営

2020年6月、SFC研究所と高岡市教育委員会の間で締結された連携協力協定に基づき、高岡市市内中学校において、公衆網とインターネットアクセスを介したパブリッククラウドサービスを用いた同時双方向遠隔授業「論理コミュニケーション」を実施。新型コロナ等緊急時には、本システムを用いて全中3生が在宅及び公共学習施設(図書館等)から遠隔授業に参加できる環境を構築

研究成果（学術論文、著作物、メディア露出等）

國領二郎（掲載）「Message」p1、人と情報のエコシステムVol.04、科学技術振興機構、2020年
 國領二郎（寄稿）ICT促進特集「『スマート自治体』の実現に向けて今すぐ自体が取り組むべきこと」ジチタイワーク
 スvol10、P6-7、2020年6月29日
 國領二郎（座談会）「特集 コロナ危機と大学」、『三田評論』2020年8、9月、p10-25
 國領二郎（掲載）演説館「慶應義塾のオンライン活用への取り組みについて」、『塾』、p1、Summer 2020、No. 307
 國領二郎、安井秀行、櫻井美穂子（共著）「スマート自治体への実現に向けての展望と課題」『自治体法務研究』、6-
 11、No. 62 2020秋
 國領二郎（掲載）「SDGsを前へ 対話を分析 新たな価値創出」産経新聞、2020年9月18日
 國領二郎（鼎談）「オンライン・ファースト社会の実現に向けて」『情報未来』No. 65、September 2020、p4-15
 國領二郎（掲載）「創設三十年を迎えたSFC」、『三田評論』2020年10月、p27-30
 國領二郎（寄稿）あとがき「企業の遺伝子も組み換える時？」『企業の遺伝子2020』p174-179、2020年6月23日
 國領二郎（寄稿）「最良の教育を津々浦々に届ける」『学校教育の情報化』大成出版社、2020年10月30日、p22-23、
 國領二郎（寄稿）スマート自治体の実現と地方公務員の働き方改革『地方公務員月報688号』2020年11月15日、p2-15
 國領二郎（転載）「所有権が重視されなくなる社会で、価値となるものは何か？専有権交換経済から持ち寄り経済へ」
 『JR経営情
 報』2020年12月18日、No. 414 P14-16（『月間事業構想』第99号p48-49）
 國領二郎（掲載）「動かないコンピュータ」日経コンピュータ、2021年2月4日、p74-76
 國領二郎（掲載）「ニューノーマル時代に新しい提言」通信興業新聞、2021年2月22日、p1
 飯盛義徳 10月10日 BSテレ東出演「羽田土曜会 ニッポンを元気にする地域の星」
 飯盛義徳 10月2日 川崎信用金庫「かわしん創発塾」で講演
 飯盛義徳 11月6日 有明広域産業技術振興会主催オンライン講演会
 飯盛義徳 11月20日 一般社団法人地域活性化センター主催「全国地域リーダー養成塾」で講演
 飯盛義徳 1月24日 九州大学ビジネススクールにて講演「経営幹部のための短期エクゼクティブ・プログラム」
 飯盛義徳 2月3日 茨城新聞社主催シンポジウムにて講演「これからの地域づくりーいかに持続可能な地域を実現す
 るかー」
 飯盛義徳 2月28日 第10回アントレプレナーシップ・カンファレンスにおいて、討論者として登壇
 飯盛義徳 3月18日 上田商工会議所「まちづくりセミナー」にて講演
 Masaki UMEJIMA, Cherry H.Y. WONG, Jiro KOKURYO, Jun MURAI, David FARBER, Keiko OKAWA, Naoto MASHITA, Rena
 RYUJI, and
 Kan SUZUKI, "Distance learning with trust over open network policy: Nagasaki?Takaoka Model as a case study
 on distance
 learning for K12 education in Japan Version1.0", KGRI Working Papers, No.2, Keio University, 2020
 サイバーフィジカルシステムに関する、テクノロジーリファレンス」に関しては、2021年4月頃WEBにて公開予定であ
 る。